

科目名	地域・在宅看護論	単位・時間	7(195)	27・28・29期生	DP	
担当講師名	専任教員 他			1年～3年	1・2・3・4	
科目設定理由	地域・在宅看護論は、地域に住む、個人・家族を看護の対象として、その人が望む、その人らしい生活を支えることを目的に設定しています。そのために、生活の基盤である地域の現状や動向を把握し、社会情勢の変化とともに求められる在宅看護を発展的に考えます。そして、地域の中で、人々がお互いに持てる力を活かし、自他共に支えあう関わり方や、対象者を中心とする、多職種との協働・連携、幅広い社会資源の理解とその活用、対象者を包括的に捉えたマネジメント能力を身に付けることを目指します。地域・在宅看護概論Ⅰでは、生活者の観点から、人々の暮らしとは何かを追求し、対象者の暮らしを支えるために必要な知識を学びます。地域・在宅看護概論Ⅱでは、対象者を包括的に捉え、支えるための必要な幅広い知識を理解し、在宅における看護の役割について総合的に学びます。より良い暮らしを支える看護では、情報通信技術(以下ICT)の進展に伴い、対応できる能力や対象者に合わせた安全・安楽な生活環境を整える知識や工夫を学びます。在宅看護援助論Ⅰでは、対象者が安心して生活できるよう医療管理に関する知識や支援方法を学びます。在宅看護援助論Ⅱでは、様々な対象者の特徴に合わせた看護の専門知識を学びます。地域・在宅看護論実習の場所は、保健医療福祉関連施設です。地域で暮らしながら療養する人々と関り、保健医療福祉チームにおける多職種連携や看護を実践するための基礎能力を養います。					
科目構成	科目名	地域・在宅看護概論Ⅰ	地域・在宅看護概論Ⅱ	より良い暮らしを支える看護		
	単位時間	1単位(15時間)	1単位(30時間)	1単位(15時間)		
	学習範囲	1.暮らしについて 2.暮らしの基盤となる地域 3.対象者の暮らしと看護	1.暮らしを支える地域・在宅看護 2.地域・在宅看護を支える制度 3.在宅療養者を支える訪問看護 4.訪問看護のサービスの実際 5.時期別看護(安定期・急性期・終末期)(入院前後・療養移行期) 6.地域連携と継続看護 7.暮らしにおける災害対策	1.在宅における生活援助 2.事例検討 3.国際福祉機器展(オンライン)		
	科目名	在宅看護援助論Ⅰ	在宅看護援助論Ⅱ			
	単位時間	1単位(15時間)	1単位(30時間)			
	学習範囲	1.精神疾患療養者の看護 2.生活困難者の看護 3.認知症療養者の看護 4.難病の療養者看護 5.小児の療養者看護 6.独居の療養者看護 7.終末期の療養者看護	1.安全な暮らしを守る看護 2.在宅における訪問看護技術 4.呼吸に関する在宅看護技術(HOT・吸引) 5.排泄に関する在宅看護技術(膀胱留置) 6.栄養に関する在宅看護技術(胃瘻・HPN) 7.褥瘡に関する看護技術			
	科目名	地域・在宅看護論実習				
	単位時間	2単位90時間				
	実習のねらい	地域・在宅看護論実習は、地域に住むあらゆる人々が、住み慣れた場所でその人らしい生活を送ることができるように支援することを学びます。実習を通してそれらを支える多職種連携や地域における社会資源についても学びましょう。保健所・保健センター実習では、住民の健康を守るため、どのように疾病予防や健康増進に向けた取り組みをしているのかを学びます。開催される事業へ住民と一っしょに参加し、多職種の関わりや支援の様子を見ることで、事業の法的根拠や目的、役割に繋げて考えましょう。参加者と積極的にコミュニケーションをとりながら生活の実際や生活背景、事業に参加する人の思いこも耳を傾けて看護師の役割を考えてみましょう。デイケア・デイサービス実習は加齢や疾病を伴う障害のある人が、居宅サービスを受けながらその人らしい生活を送るための支援について学びます。送迎や利用者の1日の過ごし方の見学や指導者とその人に合わせた支援について考えます。利用者に行う支援の意味を考え、対象者とコミュニケーションを図り、生活の実際や居宅サービスを利用することの思いを知りましょう。訪問看護ステーション実習では、加齢や障害のある人の居宅に、訪問看護師と共に出向いて看護をする実習です。療養者及び家族と積極的にコミュニケーションを図り、対象者の生活の実際や日々の生活への思いを知り、訪問看護師の役割に繋げて考えましょう。地域包括支援センター実習では、市町村が行う高齢者の相談窓口として、生活や介護の総合相談を見学します。介護予防サービスやサービス利用者の連絡調整の他、高齢虐待者の防止と権利擁護、成年後見制度の手続きや活用の支援等の実際を知り、在宅における看護の役割に繋げて考えてみましょう。地域・在宅看護論実習は人々が生活している中に入っていきます。そのため、対象者に合わせた日常生活援助やその人の生活を尊重する関りを学びましょう。4施設の実習を体験し、地域に住む、あらゆる人々にとっての多職種連携や社会資源を活用することの意義を理解し、在宅看護について自分の考えを明らかにしましょう。				
	学習を支える情報	1.地域・在宅看護論では、あらゆる場で生活している人の残存機能を十分に発揮し、自立に向けた看護を考えましょう。 2.在宅看護の場や対象者について知り、今まで学んだことを統合して、その人がその人らしく暮らしていける為の看護を考えていきましょう。				